

度に追加することが必要になったため。剥いた人工芝は、仁多中学校のホッケー場工事期間の代替措置として体育館の横に設置している。また、鳥上運動公園に地元で自力施工される。残ったものは廃棄処分とする。

副委員長 ホッケー場整備に総額で5億8,000万円もかけるならぜひともインドのオリンピックチームの誘致を実現して欲しい。

社会教育課長 現時点では、オリンピック出場が未決定であり、何とも言えない状況。精力的にロビー活動を続け、必ずや招致したい。

《土地開発公社の用地買収》

副委員長 伝統産業会館用地の㎡当たり10万円での取得は高すぎる。どう考えているのか。

企画財政課長 土地開発公社で先行取得したもので、当時町が債務負担を行ったという経過がある。町の責任において債務負担の解消を行う必要がある。

建設課長 この取得価格には土地代金だけでなく、物件移転補償費、移転費、事業管理費、支払利息等が含まれている。

予算をテック

平成29年度 特別会計補正予算

国民健康保険事業 (第2号)

川西副委員長 従来、国保の積立金は医療費高騰の準備という説明であったが、今重要なのは滞納が増えている事態だと思ふが。

健康福祉課長 滞納状況は改善してきている。

川西副委員長 払えなくても払えない実態を掌握し、施策の中に織り込むべきだ。

健康福祉課長 納付相談や生活の状況を把握し、個々に対応している。

内田副委員長 今回、基金の繰入金がかかなり高額になっている。保険税を減らす方向でいくべきだ。

健康福祉課長 基金は高額な医療費の発生、偶然的要因に基づく保険財政の変動に対応するためのもの。高額な薬剤、がんとかC型肝炎の新型薬剤の認可にも対応する。来年度から鳥根県で一本化するの、これから検討したい。

内田副委員長 基金が多いと鳥根県で一本化した場合、市町村の負担が有利になることがあるか。また奥出雲町では何がいちばん高額

な病気となっているか。

健康福祉課長 県で一本化されても、標準保険料は市町村の水準を考慮する。医療費でいちばん多いのは生活習慣病関連だ。

内田副委員長 例えば、糖尿病とか奥出雲町で増えつつある病気への対策をとるべきだ。

健康福祉課長 奥出雲町の医療費の実態を踏まえ、重症化予防の対策も必要となる。今後医療機関とも話し合いを持ちながら進める。

副委員長 国の指導で昨年度薬価が下がった。その予算措置はどうしたのか。

健康福祉課長 国保連合会での医療費分析を見ると、その影響で薬価が抑えられている。来年度の予算編成は、医療費の動向をみて反

映させる。

田舎副委員長 今回の繰越金をそのまま基金に回すのではなく、保険税を一世帯1万円引き下げ、残りを基金にするという検討をしたか。

健康福祉課長 検討はしたが、将来県が保険料率を一本化することから、その状況にあわせるため基金に回した。

水道事業 (第1号)

川西副委員長 将来、水道料金の値上げが計画されているが、これを修正できる状況ではないか。

水道課長 施設等の更新計画を考慮しながら、国庫補助金等ができるだけあて、現状を維持したいと思っているが、いずれ値上げの検討は必要だ。

奥山副委員長 横田公園プールの水量が基本的には足りない。改良の考えは。

水道課長 施設の改修をする場合、計画の中にプールの使用水量を見込むのは可能である。今後の施設計画等については関係各課と協議し、対応したい。

